

第6回「議会報告会・意見交換会」 主な質疑・意見・要望

	地区会議	質問・意見・要望	区分
1	金沢	〔地区交流センター化について〕 交流センター化したときは、公民館の組織はなくなるのか。今いる職員がいなくなったとき、公民館業務の住民票や印鑑証明は残るのか。	B
2	金沢	旧金沢公民館をどうするかという意見集約を10月まで求められている。来年3月には解体の方向になるのではないかと考えているが、金沢本町地区は6町内あり、人口も金沢地区の半分を占める。もし解体したときは、この人たちがかなり不便になる。今年は選挙があるので投票所として使うため残すのだろうが、今後、投票所があつた場所に必要という考えはないのか。	A
3	金沢	平鹿病院、横手病院では期日前投票は不可能なのか。	B
4	金沢	今、問題になっている熊の被害で、金沢地区は、山にも近いのでこのまま秋になると大変な被害が出ないか心配するが、この対策はどのように捉えているのか。また、横手市では、補助的なものは一切出していない。湯沢市や大仙市は補助の予算がついている。県では870万円位の予算がついた。銃を買ったり狩猟の免除など横手市ではその方向はないのか。	A
5	黒川	〔横手市財産経営推進計画(FM計画)について〕 既存の施設を解体していけば必ずこうなる。それを少しでも防ぐ手立てというものを考えていかなければ急カーブだ。人はいなくなる。基本は人口減少をいかに抑えた形で運営していくかということを考えないと。その点の議論を考えてほしい。黒川は小学校も無くなった。何をやればいいのかわからない。子どもと年寄りの接点や無頓着な青年たちなど、公民館活動に寄り付かない人が増えてきた。我々も頑張っているが、だんだん考え方が衰退していく。人口減少の中で公民館を持っているところは大変な重荷になっている。地元ではいろんな不安を感じながらやっているということを理解願いたい。	B
6	黒川	合併してから10年間経ってみて、どうしたら若者が定着すると思うか、どうしたら雇用が確保できるのか、お嫁さんをもって子供ができるのか、そういうことについて何か良い案を考えたことがあるか。	A
7	黒川	〔地区交流センター化について〕 地区の代表が集められて説明は受けたが、地域の方には浸透していないはずである。全く前知識がない中で聞く話は雲をつかむような話ばかりである。公民館そのもの名称はなくさないとか、住民からすると不可思議なことばかり。交流センターで行くのならば公民館を無くすでもいいかもしれないし、公民館は残しても二枚看板は今流じやないような感じがする。市の説明の時期はいつなのかと。年度も3か月を過ぎる。説明を急いでほしい。 地区交流センター化は、来年から全部という話ではないのか。30年からという話を聞いている。	A
8	黒川	〔地区交流センター化について〕 地域づくり協議会が無くなって、地区交流センター化もしないという場合はどうなるのか。	A
9	黒川	〔地区交流センター化について〕 横手は難しい。郡部の方がやりやすいのは確かだろう。地区内でも協力する体制がないとだめだ。	B
10	黒川	法的には公民館は無ければならないのか	A
11	黒川	横手市職員の非常勤も含めた不祥事が無くなる知恵はないものか。横手城の件も熊と合わせて印象付けられた感じだ。どういう基準で採用しているのか。	A

第6回「議会報告会・意見交換会」 主な質疑・意見・要望

	地区会議	質問・意見・要望	区分
12	黒川	ゆとりおん大雄だが、宿泊は5名からとなっているがなぜか。	A
13	大森・白山・川西	〔地区交流センター化について〕 交流センター化されると、今までの公民館活動に関する予算がほとんど減るはずだ。共助組織、支えあい協議会、生涯学習と同じようなものが3つも4つもあって役員がかぶっている。会議がいくつも重なるところを整備しなくてはいけないという部分がある。もう1つ、交流センターが実施された公民館は、全然儲かっている公民館だ。財源的に自主運営が出来る公民館とできない公民館がある。市がどういう形で交流センター化を他の公民館の方で進めているのか。大森は全然儲からない公民館が4つだ。それをいち早くまとめられたという形がするが、その辺はどう考えているのか。	A
14	大森・白山・川西	市のホームページを色々見てみたが、あさくら公民館を見たときに、横手地区の7館にマスコットキャラクターがあつて、独自のキャッチフレーズがあつた。合併して、各地区の個性を出しながら合併して地区交流センターを進めていこうという時に、ある程度足並みを揃えて横手の7館だけ独自の取り組みというのは、少し違和感があつたので、その辺もあわせてお決め頂きたいと思う。	B
15	大森・白山・川西	〔地区交流センター化について〕 地区交流センターは、いろいろな面で右往左往しながら試行錯誤している状態だ。地区交流センターを私なりに考えてみると、公民館を含めた生涯学習を1つ包含して地区交流センターの中に生涯学習を含めて、その他に地域づくり、地域の自主的な活動を取り入れた地域づくり、また地域の課題を解決していくようなことに取り組んでいく。大きく地域づくりと、生涯学習を進めている人づくりの2つが地区交流センターに求められている目的ではないかと思っている。今まで公民館が何十年という間に積み上げてきた生涯学習を地区交流センターでも伸ばしていくためには、どうしても人づくりをしっかりしなければならぬ。人づくりがしっかり出来なければ、人とのつながりや地域づくりに結びつかない訳なので、是非生涯学習の方を疎かにしないで取り組んでいきたいと自分なりに考えているところだ。総合的な地域づくり活動という、総合的というのほどまで含めるのか。地区交流センターにどこまで、出来るものかと。これはあくまでも拠点としてとあるので、総合的な地域づくりということと、もう1点、今年14の交流センターがスタートした訳だが、この後年々、地区交流センターがセンター化していく訳で、いずれ横手市の地区交流センターの1つの大きな組織を作る予定があるのかお聞きしたい。	A
16	大森・白山・川西	介護保険法の改正によって、支える協議会を作れということで、私どもは「おおもり支えあい協議体」という名目をつくっている。予算的には800万円をこれを社協の方に委託しているようだが、2次にくると5万円しか予算的にないという現実で、私どもはボランティアで結構だが、何をやるにしても大変窮屈な予算だ。また、何でもかんでも社協ということで、社協もかなり忙しい。支えあい協議会という組織と、交流センターの中でも共助ということで地域の支えあいの趣旨もかなりある。その辺の兼ね合いも含め、「支えあい協議体」に対しての考え方をお聞きしたい。	A
17	大森・白山・川西	温泉の話で1つ疑問な点があり、今回さくら荘と健康温泉に別々の業者が手を挙げているが、仮に両方に決まった時に恐らく源泉は1つだと思うが、その源泉の権利はどうなるのか。	A

第6回「議会報告会・意見交換会」 主な質疑・意見・要望

	地区会議	質問・意見・要望	区分
18	阿気・田根森	〔地区交流センター化について〕 地区会議といっても代表者が、集落の代表である。その集落によって固定しているところは比較的少なくて、順番のところが多い。そういう中で地区会議に責任を負わせてどうしてやっていくのか。そういうことまで被せられるとかなり厳しい。集落までも壊すのかという傾向になっていく。	B
19	阿気・田根森	旧大雄村役場からの物件と思うが、田根森地区、新町、田村地区の方に堆肥センターがある。匂いを何とかしてくれということで、市役所の方に電話入れている。担当の方は座談会の方に顔を出して、今回はこういう風にやっていますと、刈和野の全国的に有名なバイオを使っています、高いですという話をする。彼も真剣に対応してくれてはいるが、これから入梅で夏に凄い異臭がしてくる。前は浅舞地区に堆肥センターがあったが、いつの間にか大雄地区に来た。要は臭いから、こちらの方によこされた。非常に私自身は不満に思っているし、何とかならないのということは常々お話している。何も進歩がない。これは持ち帰って頂いて再度、ある程度山手の方に持っていかとか場所を考えて頂かないと、私ども四六時中臭くて臭くてという状況になっている。	A
20	阿気・田根森	油川排水幹線は工事着工しているが、先般、農水省が来て、説明の中には農道、最初県の事業の橋だったんだと思うが、それが市の方に全部移管されているようだ。いくら老朽化しても川そのものは補修するけれども橋には手を掛けないとのこと。それでお願いだが、橋も随分老朽化して、軽トラックなどいろいろ通っているが、何トン以上の車両は通過出来ないという表示もないし、渡って崩落する事故が発生したら大変なことで、市の責任になると思う。出来ればいろいろな調査をして老朽化の問題、橋に何トン以上の車両は通過できないとか、明示してもらえればいいと思うが、今後の調査の対象として取り入れて頂きたい。	A
21	福地	〔地区交流センター化について〕 公民館長が、地区交流センター長となって運営するという理解でよろしいか。地区交流センターとなった場合、公民館長の役割がどうなるのかという事は市のHPからはわからなかった。	A
22	福地	〔地区交流センター化について〕 旧横手はどうなるのか。	A
23	福地	〔地区交流センター化について〕 段階的にやると行政で言っているが仕方がない。それで良いと思う。やれる所からやれば良いと思う。時間をかけてもいいから、もっと住民を巻き込んだやり方でないと、なかなかいい知恵は出てこない。この後考えていただきたい。	B
24	福地	〔地区交流センター化について〕 福地地区の交流センター新築の件で、福地と南郷の交流センター建築の予算が付いたが、同じ金額であった。人口比率から見てもおかしい。福地と南郷を比べて同じ規模の建物でいいと行政側で判断していると思えない。市の建設課の監視係の職員が「雄物川地域局には金額の上乗せは絶対しない」と言っている。議会が行政のチェック機関という自覚があるのなら、なぜこのことを問題視して解決してもらえないのか。	A

第6回「議会報告会・意見交換会」 主な質疑・意見・要望

	地区会議	質問・意見・要望	区分
25	福地	雄物川町だけでなく横手市全体の婦人会活動で出る話だが、助成金、活動費が少ない。市の財政難からして助成金は少ないということは感じているが、地域になくってはならない団体であるにもかかわらず、婦人会に対する助成金の少なさに大変困っている。ぜひ考えていただきたい。	B
26	福地	防災訓練などいろいろやっているが横手市では雄物川の一級河川のこの地域をどのように考えているのか心配。地区交流センターとなり、この地域で水害が起きた場合どうするのかということも含めて、今後の地域の在り方や新しい地域づくりについても議員の方の考えをいただきながら進めていただければと思う。	A
27	福地	えがおの丘と大森のシルバーエリアの休館日が月曜日で一緒。小学生は月曜日に振替休日が多く、十文字地域の小学生が月曜日にプールの練習で千畑まで行っている状況。スイミングスクール等の調整が必要だとは聞いたが、えがおの丘の休館日をずらすなどの工夫はできないか。提案する。	A
28	福地	市報で結婚の特集記事で、5頁を割くというのは異常だと思う。なんのために税金を払っているのかわからない。市民の生活にかかわる部分が市報の中で全く見えてこない。あれに税金を投入されて受け取った市民はどう思うかということを考えてもらいたい。	B
29	朝倉	〔地区交流センター化について〕 地区交流センター化について、これまでの職員はどうなるのか。職員を置かないで、地域の住民は職員に代わって全部をやるのか。こういった点について明確になっていない。ボランティアでやればいいのか、地域の住民でやるのか、そういったところがはっきり見えてこない。予算がないから人口が減少したから地域に任せて、行政から丸投げをされてそれで済むかどうか。この点を考えて地区交流センター化を考えて欲しい。また、センター化になることで、これまでの公民館事業に追加される活動内容が地域づくり事業や身近な地域課題への対応とコミュニティの醸成ということだが、市の職員がいなくなってみんな地域の自主運営組織に任せられるのか、そして仮に事業が増える場合に予算はどうなるのか。どういう議論がされているのか。	A
30	朝倉	〔地区交流センター化について〕 これまでの公民館活動を維持しながら、コミュニティ活動とか地域の問題点を取り上げるには、相当専門職のレベルの高い集団でないと施設の運営は難しいと思う。行政としては、ただ地域に投げて、自分たちのできる範囲でやればいいのかという組織なのか。それとも単に地域に投げるだけ、あるいは自主活動をさせるだけでなく、今までよりも質の高い地域活動あるいは文化活動を維持できるという裏付けがあって交流センター化させているのか。	A
31	朝倉	市で各町内の班長を集めて美化運動をしてもらいたい。富士見大橋の下の職員駐車場にたばこの吸い殻がたくさんあった。市役所に電話したところ、一週間くらいしたら片づけてくれた。町内でそういった清掃活動をするように。そういう意識を持たないとまた散らかる。	B

第6回「議会報告会・意見交換会」 主な質疑・意見・要望

	地区会議	質問・意見・要望	区分
32	横手西	〔地区交流センター化について〕 交流センター化が全く話題になっていない。職員も理解していない。この状況で交流センター化を進めるのはいかなものか。1月に地区会議の議長、役員、公民館の職員を集めた説明会があったが、それで説明は終わったということで、見切り発車で進めているのではないか。横手地域の公民館の業務内容はただ単に地域の活動拠点ということだけでなく、様々な住民の要求・課題に即応したサービスを提供する事業をたくさんやっている。交流センターになることによってさまざまな行政サービスの引き継ぎができるのかという心配がある。住民負担が今以上に増えるのではないか。もっともっと住民に向けた説明や協議、議論が必要ではないかと思う。 この問題はまだまだこれから議論されていくのだと思うが、間違っても見切り発車をするということにならないようにしてもらいたい。	A
33	横手西	〔地区交流センター化について〕 地域づくり協議会が平成30年3月で廃止され、その後は地区会議が主体的地域づくり組織と位置付けられ支援を強化するとなっているが、支援強化とは何か。	A
34	横手西	〔地区交流センター化について〕 地域づくり協議会を廃止するから、各地区で自分たちでいろんなことをやって、権限を持たせてというようにいいようなことをいって、逆に市民に負担を与えているというイメージがある。地域づくり協議会を廃止するということと、地区交流センター化ということが、「それをやめるから、それ」ということではないだろうと思う。地区会議との関連性も慎重にやっていただきたい。私たち市民は、今まで「やっていただく」というような習慣がついているので、自分たちで何かを動かすとか責任を持ってやるとかそういったことに慣れていない。やり方の指導やサポートもありながらやっていくとか、何か手立てがない中では、今着手した14施設は昔から公民館機能が地域と一体化したところなのかなと想像できるが、やはり一つ一つ地区会議の機能などをきっちり整理しながら、どこだったらうまくやっていけるのか慎重に考えないといけなと思う。	B
35	横手西	地域づくり協議会にソフト事業の予算が交付されていた。来年度無くなるということは予算はどこに交付になるのか。	A
36	横手西	〔地区交流センター化について〕 地区交流センターには、行政の職員は配置しないという大方針。先行した14館のうち2、3話を聞く機会があったが、実際は大変だと。このままではとてもやりきれないと根をあげるという状況である。そういう実態をきっちり捉え、これからどのように発展させるか議論を進めていかないと、だめだと思う。14館の実態を調べることも必要だ。	B
37	横手西	地域づくり協議会が、平成29年度で廃止の方向で検討するということになっている。いろんな意見の中で、地域づくり協議会をもっと別な方法で、もっと充実したもので存続するという可能性はあるのか。地区会議での様々な議論を集約する点でも地域づくり協議会の役割は非常に大きいと思う。今までのような地域づくり協議会の在り方ではなく、もっと地区会議と連携をとれるような、そして地域づくり協議会が市との連携が取れるような組織体制が取れるならば、私は廃止するのではなく、むしろ充実させるほうが活動としてはありがたいのではと思っている。	B
38	横手西	冬に地震が起きたことを考えなければならない。その時に退避する場所が平城郵便局向かいの梅の木公園だというが、梅の木公園には屋根がない。雪が2mも積もっている。使ったことのないトイレが一つあるだけ。そこに町内会の皆さんを逃げさせなさいと言ってもなんともしない。また、三枚橋町内会災害時避難場所と書いた70cm×200cm位の看板を作ってもらいたい。	B

第6回「議会報告会・意見交換会」 主な質疑・意見・要望

	地区会議	質問・意見・要望	区分
39	横手西	市の総合計画等が、単年度単年度の計画の執行状況等についても市報を読んでいても、一つの計画について何パーセントくらい達成しているのか見る機会がない。そういったものも市民にお知らせしてほしい。	B
40	横手西	例えば、Y2ふらざはどこですかとよくいろんな人から聞かれたりする。横手市民でさえどこに何があるか分からない状況を耳にする。おそらく案内板や標識が少ないのではないかとと思うので、調査しながら検討をお願いしたい。	B
41	横手西	最近よく耳にするのが、用事があつて市役所に行ってもいったいどこに行ったらいいかわからないという声をたくさん聴く。いろんな名称がずいぶん変わっていてなかなか市民は理解できない状況にある。市民にとって分かりやすい、市民にやさしい、市民目線で、市民に寄り添ったというのが原則でなければならないと思っており、組織機構も同じだと思う。分かりやすい市役所にしないと、市民と行政とが協働でこれから事業を展開していこうという時代になっても、敷居がどんどん高くなるというのは逆行することになるのではないかと。もっと市民目線の市役所にすべきと提案してはいいか。	A
42	横手西	地区会議と地域づくり協議会の委員をやっている。毎年4月になると必ず市長との意見交換会が行われているが、西地区会議の意見を集約して、今年には提案書として出すことにした。内容としては、市長との意見交換会を開催してほしいというもの。地区の悩みは住んでいる人じゃないとわからない。副市長からは心に留めておくと言われたが、ぜひ意見交換会をする時間を作っていただければと思う。	B
43	平鹿	地区交流センターの権限とは？	A
44	平鹿	FM計画が進み、施設がなくなっていくと、一市民として心が寒くなっていく。心のよりどころがだんだん失われる。地域の支え合い・まちづくり協議会や認知症の対策推進会議にも出席してきた。どちらも国からの指示でやっているものと思う。会は開かれるが、実務的には予算も何もないし、住民自身で盛り上げてくれという形。FM計画を進めて経費を削減しているのに、実際には予算がない。そこにギャップがある。あやめ祭りのあやめマラソンも去年から廃止になっている。この前の通りの横断歩道のラインもない。FM計画もいいが、地に足の着いた政策を進めてもらいたい。	B
45	平鹿	地区会議や自治会の役員をやっているが、予算が全般的に少なすぎるような感じがする。以前やっていたときに要望したことが全然採択されず、進んでいない。もう少し早めに対処し、予算も増やしてもらいたい。また、除雪については、以前、役場にも話をしたことがあるが、水路の側溝の壁面が壊されており、3年くらい経つが未だに直っていない。自分は直接関係ない所であるが、除雪の際には気を付けてもらいたいし、除雪後に壊れている所があればすぐに直すようにしてもらえたらいいと思う。	B
46	保呂羽	〔横手市財産経営推進計画(FM計画)について〕 当地区にある「克雪センター」は、今は誰も使っていないので、解体をして雪捨て場に利用して欲しい。	B
47	保呂羽	保呂羽地区は、羽後交通のバスが通らない地域。高齢者が出歩けるかどうかを考えると、バスの通っている地域とは条件が違うと思う。大森と横手を比較して、交通の便のいい所と不便な所を同じ土俵で話をされているのは、車の運転できない世代のことをどのように考えているか。	A

第6回「議会報告会・意見交換会」 主な質疑・意見・要望

	地区会議	質問・意見・要望	区分
48	保呂羽	〔地区交流センター化について〕 前田公民館は、平成24年から地域センターとしてやっていこうと地域あげて取り組んできて今に至る。4年かかってようやく地区交流センターになったが、生涯学習活動だけでなく、地域の課題解決に向けて取り組んでいるが、これまでと何が変わったのかと言われることを恐れている。活動をPRしているものの、運営するスタッフに課題がある。館長と女性事務員2人でやっているが、自治会の事務も手伝っており年中忙しい状況だが、女性事務員の賃金が安い。副市長に相談したところ、「似たような立場の人もいるので検討する」との話だった。看板の掛け替えで終わらないためにもスタッフのことも考えてほしい。若い人が働く意欲が持てるようにしてほしい。公民館の仕事と地域づくりの仕事が増えてくる。事業委託料50万円くらいだが、事務仕事も今までのやり方と違う。役所に則ったやり方でなければならず、中身もどんどん変わってきて事務量も増えていることを考慮してもらいたい。生きがいを感じてこれからの将来を託すためにも、臨時1年で終わりではなく、それで生活していける保証をして頂きたい。事務員を募集しても、あまりにも待遇が悪くて断られる。誘致工場の賃金の方が高い。職員の身分を安定させてほしい。	A
49	保呂羽	〔地区交流センター化について〕 地区交流センターになって、中身としては地域づくりと公民館の生涯学習だが、組織との関係で、地区会議が大変重要な位置を占めている感じがする。しかし、地域づくり協議会がなくなって地区会議が地域づくりの核をなすようなイメージに受け取られるが、そのことを皆が共通理解しているのだろうか。今までだと、ハード事業は少して、ソフト事業で数十万のお金を何に使うのかという話し合いしかやっていない。それが地域づくりの大事なことをやる会だというふうに意識が変わっているのかどうかということも、今一つだ。私たちは自治会と一緒にやっていたので動きやすいが、地区会議をどのようにしてやろうというのが、地域の実態にもよるが今一つ分からない。お金を出すと言われれば頑張るかもしれないが、これまで、地区会議が地域づくりに関わってどんどんやっていけばいいのだが弱い。地区会議が大事だと言われても、本当に力を出すまでは時間がかかると思う。	B
50	保呂羽	芦沢トンネルを越えてすぐ右側に、一気に曲がるカーブがある。この前の工事で狭くなっていて何回か事故があって危険な個所がある。改めて要望したい。	B
51	保呂羽	大森病院には、子どもを預ける施設がある。女性が心配なく働ける環境があるのはすごくいいことだし、もっと働く女性が集まってくるものと思う。私の勤める会社(車のシート工場)は400人ほどの従業員がいて、6~7割は女性だ。企業の周りに小さな託児所を整備すれば、魅力となってもっと人が集まるのでは？	B
52	保呂羽	私たちの田んぼは山間部にあり、山菜を採りに来る人たちの帰りのゴミに困っている。熊の出没もそういうことが関係していると思う。山菜取りは一例で、地元の人の中にもゴミを捨てる人がいる。なかなか隣近所に口は出せない。環境美化委員にもっと権限を与えたらどうか。山の中には信じられないような物が廃棄物としてまとめて投棄されている。	B

第6回「議会報告会・意見交換会」 主な質疑・意見・要望

	地区会議	質問・意見・要望	区分
53	さかえ	<p>〔地区交流センター化について〕</p> <p>・地区交流センター化は、公民館としてのこれまでの生涯学習機能に加え、高齢化に伴う暮らしの課題解決を、そこに住む住民が主体となって解決を図る新しい地域社会づくり拠点機能と理解している。安心して暮らせるために名実ともに機能するセンター化の推進を図るべきだ。</p> <p>・八王寺3区自治会は、昨年から町内会有志による「結の会」を結成し活動している。昨年冬の活動実績は、屋根の雪下ろし3世帯1回、間口の除排雪7世帯20回。利用者は安心して冬を越せると喜んでいる。3年間で市や県からの補助金がカットされるので、もう少し延長してもらえないだろうか。自己資金の確保が一番の課題。他地域では県道の草刈りを請け負っているように、私たちも八王寺公園の草刈り等でいくらかでも確保できるようになればありがたい。</p> <p>・地域づくり協議会の委員になっているが、どのような経緯から29年度で廃止することになったのか。64～5の元気の出る事業を通じて地域活性化につながっているものと思うが、横手地区で1,300万円程の予算の振り分けについては、これからは地区会議が主体となってソフト・ハード事業をやることになると思うが、地区交流センター化が地域づくり協議会に成り代わるためには、どのように地域活性化の事業を行っていけばいいのだろうか。</p>	A
54	さかえ	<p>〔地区交流センター化について〕</p> <p>地区交流センターの役員など人員配置の構想はどうなっているのか。今までの地域づくり協議会は、市から任命を受けているが、地区会議となると漠然としている。誰が委員になってどのようなスタッフを抱えて、事業をする時はプレゼンをしてそれを認めるというようなシステムが必要だ。公民館に、このような事業をやりたいと住民から会った時に、誰がフィルターをかけて市や団体に上げたりするというような仕分けをしなければ、ただ弊害化しているような結果では機能していかないと思う。地区会議の位置付けをはっきりさせることは大切だ。まして税金を投入してやるとなれば、きちんとした形でやらなければならない。3～5年程度のスパンがあると思うので、その辺もきちんと体制をつくってもらえたらと思う。</p>	A
55	さかえ	<p>地区交流センターを正しく進めていくための提案をしたい。</p> <p>①地区交流センター化に向けて役員や候補者、地域づくり協議会といった閉ざされた範囲でしか議論がされていない。役員も含め住民に開かれた勉強会を積極的に行い、何のために交流センターが必要なのかという目的を十分に理解できる機会を多くしなければ、名前が上滑りすると思う。国勢調査のデータを調べてみると、大屋寺内は平成27年と10年前の調査では、世帯数は133から131と2世帯しか減っていない。ところが、人口は518人から395人へ123人減っている。高齢化率は31%から41%と10%上昇。人口減少が何を意味しているのかというと、1世帯を構成していた人数が3.9人から3.0人と世帯の力が25%減少しているということだ。そのことによって屋根の雪下ろしなどができなくなっているのが実態である。住民も何でも役所やシルバー人材に任せるのではなく、自分でも少し考えるような機会を設けるべきだ。</p> <p>②運営体制について、地区会議という話があるが、指定管理でやるべきではないか。一定の計画、体制をもって提案や運営ができるノウハウがあるところが担うべきであって、名前で行うべきではない。</p> <p>③センター機能を強化していくために、市政の全ての方向軸を住民の手による課題解決の方向に第一に考えて、政策の縦割りはもうやめてほしい。逆の方向になっている。センターに機能を一元化することによって、自分の地域のことは自分たちで解決していく意識を醸成できるのではないか。</p>	B

第6回「議会報告会・意見交換会」 主な質疑・意見・要望

	地区会議	質問・意見・要望	区分
56	さかえ	〔地区交流センター化について〕 地区交流センターと包括ケアシステムが、同じことを進めていくのにバラバラに動いているのが気になる。また、地域包括と関連して、今盛んに組織をつくって町内会や福祉協力委員、民生委員の協議体が第二層をつくっている。アンケートをとって住民ニーズを把握しているが、バッティングしていると感じる。福祉なので趣旨が若干違うが、どこで一本化するのか落としどころ、一元化が大事なことだと思う。官民一体でやるしかないと思う。	B
57	さかえ	〔地区交流センター化について〕 先行された14の地区交流センターでは、順調に今までの公民館でやっていた事業がうまく運営されているのか。また、3～5年をめどというが、なぜ公民館から地区交流センターになるのかよく分からない。今来ている皆さんが分かったとしても、他の人も分からなければ地域挙げての組織にはならないと思うので、勉強会や説明会を開いて移行に向けて進めて頂ければと思う。センター長、職員はその地区の住民で組織することになっているが、うまくいっているのか。さかえ地区でセンター化することになった場合、行政経験のある人が誰もいなかったら、我々農家にやれと言われてもなかなかうまくいかないのではないかと危惧している。指定管理の方向になればそういった問題はないと思うが、地区に任せられても難しい。	B
58	さかえ	〔地区交流センター化について〕 小学校区単位でいいのか。昭和26年合併時、安田原や八王寺地区で昭和20年以降生まれの人は栄小学校に入っていない。安田原、安田、婦気にかけては栄地区でも南小学校に通っている。学校単位の地区会議とあるが、どうしても親しみを持ってない。地域の見直しの話はないのか。横手に行けといわれれば中央公民館しかない。	B
59	さかえ	〔地区交流センター化について〕 地区交流センター化の方向は噂に聞いていたが、今日初めて聞いて、公民館で今までやっていたことを更に広げていくという方向性はいいことだと思う。ただ、自主防災だ市民協働だということを、今の我々の公民館活動の中で言われても果たしてどのように進めていったらいいのか分からない。今日は議会の立場で説明頂いているが、市がどのように考えどのように進めるのかは、やはり議会の皆さんの説明だけでは足りないと思う。市の説明や学習会をやって頂いて、更に議会とお話ししながらやっていかなければ、なかなか前に進まないと思う。丁寧にやらなければ今やっている公民館活動自体もだめになってしまう恐れがある。方向性に反対する方はいないと思うし、中身を学習したい。	A
60	さかえ	総務省では、地方交付税の中で、地域運営組織を進めていくための予算をつけている。特別交付税の中には、研修会や勉強会をやるための予算も2年前からついているのにも関わらず、市の姿勢が見えない。分からないところで地域づくり協議会だけでやっているようだ。今の限られた予算をしっかりと見直して、要求のものから整理していくことを提案して頂きたい。交付税の中身は、その地域の運営組織体制をつくるための支援費で、勉強会や研修会をやるための費用が特別交付税になっている。市の予算の総額の中で不要求なものは見直すべきで、今まであったものがなくなっていると思う。 〔勉強会や研修会をやってほしいという要望〕	A

第6回「議会報告会・意見交換会」 主な質疑・意見・要望

	地区会議	質問・意見・要望	区分
61	さかえ	3月議会最終日に動議で提出された監査請求について、6月議会の最終日に監査報告があり決議を出されたが、立て替え払いが一職員の判断でできる話なのかと思った。平鹿地域のお金の紛失も、後から見つかったようだが、机にあったものが無くなって後から出てきたと言うのには納得できない。監査報告では市の方が悪いという踏み込んだ発言をしていたが、議会として市長はどのように責任をとるのかと踏み込んだ決議をされているが、市長からは何もないではないか。私も含め、ネット中継をみていた人は皆知っていることだ。この後どうするのか。これまで4年間の間に、市長は自ら減俸処分をすとか歳費をお返ししますという話が一切なかった。それは何もやっていないのと同じなのではないか。議会の全会一致の決議というのは、今までになかった凄い進歩だと思う。そこを明らかにして市民が納得できる回答を頂きたいと思う。	A
62	山内北	[地区交流センター化について] この計画では、山内公民館1つしかないが、13自治区をいくつにするのか。	A
63	山内北	[横手市財産経営推進計画(FM計画)について] 古い建物や空き家を有効活用してほしい。この地域で一番足りないのが鶴寿園のような介護施設だと思う。介護の法人に有利な条件で貸すことで従業員も増え、税金も入ることになると思うが、そういう活用の計画はないか。六郷高校のように福祉学科があれば、市外からも人がくるのではないか。ぜひ検討して頂きたい。	B
64	山内北	[横手市財産経営推進計画(FM計画)について] 市民会館はだいぶ古くなった。小さくて有名な方も来てくれなくなっているのでもう少し大きいものが欲しい。大規模改修で大きくできないのか。昨年の高橋優のコンサートは大変よかった。雨が降ってもできる施設があればいいと思う。	B
65	山内北	[事前要望] ・JR北上線の平石駅と小松川駅に、日中の電車が停まるようにしてほしい。 ・病院等用事で朝8時半に横手に行くのと帰ってくるのが午後5時32分くらい。中間の午後2時頃小松川駅に停まるようになれば、もっと良いと思う。火曜日と木曜日には相野々駅に行くバスが出ていて、事前に地域局に電話をするとスクールバスのバス停まで送迎してくれるが、本当は利用したいけれど、電話をするのが恥ずかしいと言っている人がたくさんいる。高齢化して免許返納と言うが、足が無くて車はやめられない。デマンド交通も高い。	B
66	山内北	避難所の管理は地元でやるのか、行政でやるのか。自分たちは役員で草刈り作業をしている。草刈り作業については、機械代、役員の手刈り代、燃料代がソフト事業の方でいくらかある。学校跡地なので周りにはU字溝が入っているが、土で埋まっていて雨が降ると全部田んぼのようになる。草刈りをすればきれいになるので、グラウンドゴルフ大会や避難訓練を行っている。せめて避難所であれば水やトイレは必要だ。話を聞くと、屋根も何もないところは他にもたくさんあるから大丈夫だと言われる。	A

第6回「議会報告会・意見交換会」 主な質疑・意見・要望

	地区会議	質問・意見・要望	区分
67	山内北	山内北地区会議は3自治区で構成し、松川コミュニティセンターは公民館ではなくダム事務所につくってもらった建物。我々としては、よく使うこの場所を避難所にしてほしいと要望しているが、して頂けない。この地区は、地すべり地形の範囲内。旧松川小学校跡地、電気ガス水道トイレが一切ない更地が避難所に指定されている。冬になれば除雪もしない場所だ。冬期間は、松川コミュニティセンターが、臨時避難所になる。避難訓練の際には、防災無線を鳴らして全員揃うまで30分位かかる。皆歩いて行って、何も無いところからテントを建てる。避難所としてどうなのかということはずっと前から言っていることだ。	A
68	増田	〔地区交流センター化について〕 地区交流センターは自主運営ということだが、市の職員は関わらないのか。住民主体といっても、やり手がいるのかというのが一番の問題で、高齢化しているし、若い人たちは仕事や子育てで活動できない。スポーツ少年団などは一生懸命やるが地域に関する活動や自主運営的なことは難しいと思う。地域センター祭りも、市の職員の手助けがなければ運営できないと感じていて、職員の手が引いた形になるのであれば、持続は難しい。	B
69	増田	〔横手市財産経営推進計画(FM計画)について〕 増田では地区会議を「地域センター」と言い、廃校になった校舎を活用している。増田地域センターの拠点だったふれあいプラザに多額の費用をかけてマンガに特化した施設とするため、生涯学習センターと公民館機能が多目的センターに移ったが手狭感がぬぐえない。住民の皆さんに積極的にやって頂いている手前、一定の施設管理は必要。地域センター祭りが従来の半分しか人が集まらないなど事業に支障をきたしている状況だ。FM計画で、新たにつくるよりも既存の施設を改修することもあると思うが、庁舎と多目的センターを逆転して、増田地域センターを庁舎内として活用するといった大胆な考えはないのか。	A
70	増田	増田では、まんが美術館が複合施設だった。庁舎の1階に図書館が移ったが、確かにオープンで小さい子どもたちも通いやすくなったという話は聞いている。一方で、長年利用している側からすれば、静かに調べ物ができる状態ではない。前は勉強する部屋が区切られていたが、今はそのようなスペースがなくバラバラに机が置いてあって談話室のようだ。大きな話し声が天井に伝わって響いてきて、造りとしても問題がある。個々の機能がしっかりと成立できるような複合施設として考えて頂きたい。今は図書館に通う気持ちにならない。静かな気持ちにならない場所になってしまったのが残念だ。	B
71	増田	・まんが美術館を「マンガの貯蔵数世界一を目指す」というのは分かるが、この計画の平面図をまだ知らない。市民にも目に触れるようなチャンスを与えてもらいたい。どうすれば見られるのか。将来的に、漫画家になりたい人の卵を養成していくような人づくりができるようなシステムがあるべきだ。偉い先生の作品を貯蔵するだけなのか。ソフト面をもっと充実させてプランに盛り込んでほしい。また、マンガを見に来る人だけでなく、卵たちが集まってお互いに協力し合って人が育っていくようなシステムが確立してくれればよい。	B
72	増田	原画を世界一所有することだが、利活用が気になる。手書きの原画をメインに集めていたと思うが、デジタルの原画も集めていかなければならないと思う。集めたものをどう使うのか。今年、東京の赤坂で上田世紀さんの「俺節展」があり、すごく盛況だったと聞いている。舞台と連携した展示だったので、例えばその時のアニメ映画の原画を集めたりすることも必要だ。	A

第6回「議会報告会・意見交換会」 主な質疑・意見・要望

	地区会議	質問・意見・要望	区分
73	増田	<p>・「増田街歩き(仮)イベント打ち合わせPR活動検討について」ということで、自分たちで資金を出し合いながら、増田町を少しでも元気にしようという活動がある。私も観光ガイドをしているが、内蔵をみせておられる方々はお年寄りが多く、これから何年できるだろうか。若い方々が一生懸命になってやるのはとてもいいことで、市としてもこのような団体にバックアップしてほしい。</p> <p>[活動団体代表より事業の説明] ・今回は3回目だが、2月とゴールデンウィークに行ったものに、今回は「蔵史めぐり」と一緒にやるイベント。まだ計画段階だが、蔵史めぐり実行委員会と連携して、当日のイベントや内蔵の案内パンフレットに、内蔵以外の見どころをPRする合同チラシをつくって来場するお客様に配布したいと考えている。ゴールデンウィークにやった時と今回は補助金を貰っていない状況で、参加店舗から終わった後で集金するような形をとりたい。 ・1回目のイベントの時は商工会から支援の話はあった。2回目は補助金を頂ける状態になく、なるべく使わない方向で自由に自分達でできればと思っていたが、大変なところも結構ある。人的はもちろん、お金の面でもきついイベントになってしまっていて、まだチラシを作る位で、お客様がたくさん来る時期に合わせてやっている。あまりにも大きなイベントだと各店舗が大変なので、今後は蔵史めぐりの後、秋にでもやりたいと思っているが、単独で開催するとお金の見通しは立てられないと思っている。</p>	B
74	増田	<p>中七日町通りで、商工会が管理していたラウンジの改修工事が行われている。今の町並みに即した建物になるようだが、運営形態はどのようになるのか。今までは商工会が鍵を開けたり掃除をしたり管理をしていたが、将来的に指定管理の形態で公募をしていくのか。鍵の開け閉めだけではなく、もっと有効な使い方があるように思う。増田の歴史資料館や、文化の町として眠っている宝もある。蔵を守り、しっかりと黒磨きができる技術者集団の人材育成の場として、観光と同時に育てていかなければ本当のまちづくりはできないと思う。</p>	B
75	増田	<p>平成31年度に重伝建の全国大会が増田で開かれる。今年開催した茨城県の桜川市真壁地区に行ってきたが、全国から300人近くが集まる。増田地域で会場となるのは、ふれあいプラザしかない。ホールだけでなく、受付や荷物の預かり場所等、その町の歴史等を紹介する部屋も必要だが、今大規模改修してマンガに特化するとすると、中身がどのような形になるか分からないので、そういったイベントが開かれるということを理解して頂きたい。また、真壁地区の対応は少し悪かった。会場が狭く、スタッフ同士も連携が取れておらず、移動も大変で不便なところがあった。全国大会の会場は、増田地域となるが、オール横手で連携してやって頂きたい。工事が終わっていなかったら大変なので、しっかりその時までで作って頂きたい。使用に耐えうる感じになれば大変ありがたい。</p>	B
76	増田	<p>DMOということをよく聞かすが、組織や名前を見てもよく分からない。傘下に入らない組織もあると聞いた。将来的にはDMOにお金が入り、DMOを経由して各組織に振り分けられることになるのだと思うが、その組織に入らないところのお金の流れはどうなるのか。入らなければ困るのではないか。別の形でお金が行くのであれば、特別扱いになるのではないか。また、参加のタイムリミットはあるのか。</p>	A
77	旭	<p>[横手市財産経営推進計画(FM計画)について] 他の市町村は空き校舎など効果的に利用している。美郷町はひとつにまとめて、ひとつは解体し、ひとつは貸すと色々やっている。そういうのを積極的にやってもらいたい。</p>	B

第6回「議会報告会・意見交換会」 主な質疑・意見・要望

	地区会議	質問・意見・要望	区分
78	旭	高齢者の免許証返納について、1人では歩けないが運転はできる状態で、病院に行くにも足がないから返納できないという人がいる。どんな事故が起きてても本人にとってはしょうがないことだが、それでは済まないこと。この地域にも循環バスがきてもらえば、年寄りがもっと安心して楽に過ごせる気がする。	B
79	旭	農免道路に横断歩道がないと去年も言った。子ども達が集まるのに、農免道路を渡って、学校行くのにまた逆に渡って二度行き来している。絶対横断歩道を作ってもらいたい。	A
80	旭	市福祉と社協でやっている事業がかなりダブっている。市民フォーラムは社協に丸投げで、社協が主体となってやっているが、内容が掴みきれないし、中で話し合っただけで意見交換して紛らわしくないようにしてほしい。	B
81	旭	いきいきサロンにしても、どのようにしてやっているのが見えない。老人クラブも同じ。補助金ももらっているし、いきいきサロンも社協から6万とかもらっているけれども、月1回、血圧測定、警察指導も来ているようだが、何のためにやっているのか。辺りから見ると飲み食いには使っていない。クリーンアップのとき市民生活なんかから花をかなりもってきた。それも1部落150～200近い花だ。1本が60円～80円でしょう。それをそんなにもらって、道路に出ているのはその4分の1、3分の1ないんです。その花は各家々にいっている。投げているような状態だ。そういう我々の税金をそういう金の使い方をして、補助金の使い方をわかるようにしてほしいと思っている。	B
82	山内西・南・中央	〔横手市財産経営推進計画(FM計画)について〕 地域性によって複合的とはいうが、山内は点在して高齢者がいない地区もある。一つ有るものを複合的に使うのは結構だが、年寄りにとって遠いこともある。地域性を考慮する必要があるのではないか。	A
83	山内西・南・中央	〔横手市財産経営推進計画(FM計画)について〕 山内のようなところはますます施設がなくなり、都市部と郡部で格差が広がってしまう。中学校の無い地域では住もうという気持ちがなくなってしまうのではないか。どうせ住むのなら、子どもの教育の便利のいいところ、買物の近いところ、医者があるところというふうになる。FM計画もそういったところも不利益にならないよう議論を進めて欲しい。	B
84	山内西・南・中央	来年度山内中が南中に統合される。朝はスクールバスが出ると思うが、野球部だと遅くまで練習している。帰宅部はいいが、部活が終わってもスクールバスが利用できる方法はとれるのか。小中学校の統合後のスクールバスの基準を教えて欲しい。	A
85	横手南・横手北	〔地区交流センター化について〕 中央公民館は、女性センターを借りている。これだけ住民が多い所に正式な公民館がないといけな。これまでは、かまくら館とかY2ぶらざを使いなさいと言われてきたが、やっぱり公民館としての機能ではないということで大変使いにくい。見合ったものができれば大変ありがたい。	B
86	横手南・横手北	〔地区交流センター化について〕 運営主体が自主組織となっているけれど具体的なイメージが湧かない。どういうグループが自主組織としてその任務にあっているのか、どんな課題があるか教えて欲しい。	A

第6回「議会報告会・意見交換会」 主な質疑・意見・要望

	地区会議	質問・意見・要望	区分
87	横手南・横手北	〔地区交流センター化について〕 自主組織というのは、例えば民間の委託とかと違って、今まで存在していたグループを主体とするということか。	A
88	横手南・横手北	〔地区交流センター化について〕 センター長というのはどっちの側につくのか。行政側なのか、グループ側なのか。	B
89	横手南・横手北	〔地区交流センター化について〕 市が自分たちでやれとは言っているものの、なんとなく都合よく、地区のことは地区が一番知っているから好きなようにやりなさいと言いながら60万円しかお金をくれないのかと思ってしまう。最初は市がするとかセンター長さんが役所を退職した人がやるとか、自主運営といういい加減な名前にしか聞こえない。	B
90	横手南・横手北	〔地区交流センター化について〕 雪下ろしなどの活動は目に見えるものだ。しかし、それ以外のものはどういふものがあるのか全く想像つかない。なんでも「60万円でこれはお前たちがやるんだよ」と行政に投げられることを危惧する。	B
91	横手南・横手北	〔地区交流センター化について〕 北地区は38町内。旧町内でやっているの、柳町で100世帯。大水戸町で200世帯、馬苦勞町、そういう町内ごとに町内会を作ってお祭りや、消毒、流雪溝の管理をやっている。ドイツでは大きい施設を建てるのではなく、歩いて行ける距離に公民館的なものをいっぱい作っている。いつでもぱっと行って施設を使え、すごく便利だ。専属でやる人(事務局)は、給料をきっちりいただいてやるくらいでないと運営はできないと思う。	B
92	横手南・横手北	〔地区交流センター化について〕 確かにこれからは変わっていくだろうということは分かっているが、今現在、南地区40何町内あるが、そのうち、組織化して町内会なり自治会をやっているところがいくらあるか。高齢化により町内会そのものが消滅しかけているところもある。こういう問題も若い人たちを入れて審議していかなければ、我々高齢者が何を言ったって将来に結びつかないと思う。何とかして若い人たちをこういう場に呼んで意見を聞く形をとってもらいたいと思う。	B
93	横手南・横手北	〔地区交流センター化について〕 横手中央公民館は私の住む町内から言わせると中央ではない。最初から中央公民館を使うのではなく、もう少し考え方を考えてちょうどいいところに何かないかなと。皆さんの意見を聞いて決めてほしい。	B
94	横手南・横手北	〔横手市財産経営推進計画(FM計画)について〕 900施設のリストとか評価票があったら、私たち市民にも公表していただければありがたい。	B
95	横手南・横手北	農林整備課に行って提案した。一つは、積極的にクマの駆除をやらなきゃいけない。長期的には、猟友会が皆、高齢化しているので、市の職員に猟銃とワナをかける資格取得を助成するなりして資格を取らせ、そうした人たちを、その課だけじゃなくて市職員全体でそういうのをやらないと長期的には対応できないだろうと思う。農林整備課では前向きに取り組むということだったので、議員の方からもよろしく願います。	B

第6回「議会報告会・意見交換会」 主な質疑・意見・要望

	地区会議	質問・意見・要望	区分
96	横手南・横手北	神明社のところまで道路が広がっている。神明社をちょっと超えた右側のところに下りる下りの坂がある。あのところが急に道路が狭くなっている。右折するときにごく危険。安田原交差点の変電所のところから急に道路が狭くなっている。あの通りがずっと都市計画といいながらも全然されていない。山崎記念公園の市民会館の上がり口のところが特に狭く、冬の除雪のときは交差できないくらい狭い。流雪溝もあるがグレーチングの上を車が通るからガタガタと音がする。まして小学生の登校の道路にもなっていて、今まで何度も危険だと感じていたが改善されていないので、よろしくお願ひしたい。横手市全体を見ながら優先順位を決めてやってもらいたい。	A
97	横手南・横手北	各集積所にコンテナを上げるため、お金を使って棚を作った。収集時に前はコンテナを棚に乗せてもらったが、先週だけ下に置いていった。町内全体を回ったら全部下におろしていた。市の方から業者に指導できるのか。	A
98	館合	〔地区交流センター化について〕 地区交流センターのことだが、最初に交流センター化される時、立派な施設にして、活動できる施設にできるようにするからということから話がはいってきた。実際、交流センター化されたこの施設を見てどう思うか。基本的な環境整備をやって頂いて、その後頑張って活動してくださいという順番になると思うがどうか。	A
99	館合	〔地区交流センター化について〕 2年前センター化の準備会を発足した時に、ソフトはみんなで作るが、活動拠点、建物部に関しては何とかしてもらわないといけないということで、当時はやれるということだった。行政を進めていくうえで地域住民の考え方をいかに吸収して政策に反映するのか、きめ細かにやっていただきたいので、そのへんの考え方をきちんとしていただきたい。	A
100	館合	〔地区交流センター化について〕 横手地域は、はっきり言って交流センター化はしないとやっている。この2年間行政は何もなかった。交流センターが2年間足踏みしたのはおかしい。あたかもその時に話がきちんと出来ましたって今頃こういうことを言っても誰も信じない。	B
101	館合	〔地区交流センター化について〕 ソフト予算の内容や使い方について、センター長に任せるわけではなく、細かいところまで使い道を決められている。ある程度センター長に任せて使い道を締め付けなくて欲しい。	B
102	館合	〔地区交流センター化について〕 交流センター化の窓口はどこ部署なのか、時間ロスのないよう一本化してもらおう、議会からも発言してもらいたい。	B
103	館合	〔地区交流センター化について〕 館合公民館は下水道にも繋がっていない最悪な状況で、前々から教育委員会に話していたが、お金がかかるということで断念せざるを得なかった。行政がどうしても拠点センターとして進めていくのならば、もっと真剣に考えてもらわなければ駄目だ。総じて市民と一緒に生活していける、住んで良かったと思っていけるセンターにしていけたらと思う。中間報告がなされたということですが、簡単な資料があればよかった。それについて勉強もしてみたい。もし中間報告が出せるようであればいただきたい。	A

第6回「議会報告会・意見交換会」 主な質疑・意見・要望

	地区会議	質問・意見・要望	区分
104	館合	大仙はスクールバスを買わないで、路線バスで子ども達を運んでいる。地域から協和小学校の学校の中まで路線になっていて、地域住民も路線バスのおかげで助かっている。横手市の場合は、子どもたちは助かるが、路線バスが廃止され、雄物川では館合だけが路線バスがない。目的外使用と言うのはわかるが、横浜のようにスクールバスを地域住民にも使わせてもらえるようお願いしたい。	A
105	館合	「地域と学校の一体化」「地域で子ども達を育てよう」と言葉は出てくる。けれど、地域で学校に入っていけるところがあるか。学校が地域を受け入れているところは横手市でまだない。子どもは地域で育てる。その子供たちがいない。特に中学生がいない。地域の者と活動できないのかいつも思う。是非そういう声を大に、地域で子どもの顔が見えるように、話題に出るくらいに、年寄りが見れば、将来継いでくれると思えて元気が出る。ぜひ学校とのつながりが実施できるような声掛けをお願いしたい。	A
106	館合	(市の)子どもの貧困計画を見たか。これは対処療法だ。このとおりにいって、貧困が減るならいいが。普通に所得税を納付している人間が、介護が必要な人間が家族に一人いると年に300万円かかる。そういう金を出した時にその家庭の子どもはどうなる。そういうことが一切書かれていない。本当に対症療法だけだ。もっと真剣に考えないとこんなことで子どもの貧困など救えない。横手市の中学生、高校生の貧困は凄い。学校の先生が大変だ。これを直さないと横手市はどんどん人口減だ。貧困で出て行った子は戻ってこない。この計画についてどう思われたのか是非聞かせて欲しい。	B
107	館合	〔子どもの貧困計画に関連〕 今まで給付は親に出していた。親に出すと格差があるから絶対不満につながる。行政はそれを見切って、子ども全てに出すようにしないと子どもの貧困はなくなる。18年前に生活保護でパチンコ、お酒に使い、保護費の使い方を低減するようになった。子どもが平等になるように子どもを手当てしないといけない。どこの行政も忘れてるのはそこ。親しか面倒を見ない。親じゃない、子どもなんだ。年収600万でも、介護の人一人抱えると平均年300万円の金が出ていく。そこから貧困は始まってくる。そういう意味で、子どもをどうやって救うか行政に考えてもらうか頑張ってもらわないと。我々も声を出していく必要がある。	B